



一般社団法人北海道中小企業家同友会 オホーツク支部

# OKHOTSK VISION

～ オホーツクの未来を創る19の方針 ～

## 説明資料

<p>1-01 地域を元気にする コミュニティの活性化</p>	<p>1-02 地域内外の新しい ネットワークの形成</p>	<p>1-03 多様な地域と結びつた 社会システムの実現</p>	<p>1-04 多様な文化を背景とした 一人ひとりが参加する自然体験</p>	<p>1-05 実証事業を創出し 持続可能な社会づくり</p>	<p><b>OKHOTSK VISION</b> オホーツクの未来を創る19の方針</p>		
<p>2-01 心身の基礎を培う 自然体験</p>	<p>2-02 地域の特色を活かした 体験学習</p>	<p>2-03 先人から継承した 地域の歴史教育</p>	<p>2-04 心身を鍛える スポーツ振興</p>	<p>2-05 専攻力を生かす 文化活動推進</p>		<p>2-06 生きがいを実感 生涯学習</p>	<p>2-07 生涯にわたる 健康できる暮らし</p>
<p>3-01 地域資源の活用・継承と 地域経済の過渡</p>	<p>3-02 持続可能な発展的な 社会基盤の形成</p>	<p>3-03 誰も想像力を駆ける 労働環境の実現</p>	<p>3-04 安心して仕事を 子育てができる環境の整備</p>	<p>3-05 時代を先導する 関係・福祉の推進</p>		<p>3-06 歴史が深く文化が まちづくり</p>	<p>3-07 自然の豊かさと生活の質を 大切にできる暮らしのすすめ</p>

# オホーツクビジョン策定の背景

オホーツクに迫る外的影響や地域が抱える課題に対し、都市部にはない魅力や強みを見出し活かすことが急がれている

## 背景とオホーツクの抱える課題

経済のグローバル化

人口流失

少子高齢化社会

事業承継問題

人口減少社会

人材不足

## オホーツクの強み

豊かな一次産業

貴重な自然環境

観光資源の可能性

# オホーツクビジョンの合意形成

## アンケート

- 自由記述式 2 回
  - 記述・択一式 2 回
- 計 4 回
- 回答企業数延べ147
- 回答数延べ 908

## 委員会

- SWOT分析
- ビジョン成案
- 地域塾
- ファシリテーション  
セミナー

## ワーク ショップ

- ワールドカフェ
- OST会議
- ハッカソン

# オホーツクビジョンの概要

「幸福度の高い持続可能な地域社会」というビジョンを共有、目指すべき姿を具体的にイメージすることで、中小企業だけでなく、行政や住民、地域全体が連携を深める。

目的

## 【目的】

オホーツク地域が雄大な自然と共に持続可能な発展を遂げ、住民一人ひとりが幸福で豊かな暮らしを営み、人生を謳歌すること。

目指す姿

## 【目指す姿】

### 人・地域・自然とのつながり

母なるオホーツクの自然に感謝し、ふるさとを想う気持ちで結ばれた人と人が多様性を認め支え合い、地域と地域が活発な交流で高め合う「関係づくり」

## 【方針】



### 一人ひとりの豊かさ

新しい時代を切り拓く知性・感性と、真の豊かさを知る寛容な心、そして生涯元気な身体を持つ「人づくり」

## 【方針】



### 社会経済環境の充実

持続可能で自立した元気な経済、世代を超えて安心して暮らせる社会と、次代に向けた新しいオホーツク文化の創造を目指す「環境づくり」

## 【方針】



方針

# 「オホーツクビジョン」を企業として活用する



19の方針の内、各企業の業態や方針に合致するものを選んでいただき、対応するアイコンを使用する。

- ・ 広告
- ・ 名刺
- ・ 店舗の入り口
- ・ 看板
- ・ 配布物
- ・ 商品の包装等々。



1. 地域に貢献する企業としてPR
2. 従業員のモチベーションUP
3. 消費者など住民の地域愛醸成
4. オホーツク地域のPR
5. 新たな連携への切っ掛け

# 地域として期待される効果

幸福度の高い持続可能な地域社会というビジョンを共有し、  
目指すべき姿を具体的にイメージすることで、…

オホーツクの方向性が明確になり、中小企業家たちを活気づける**旗(フラッグ)**になる。

中小企業だけでなく、行政や住民、地域全体が**連携**を深めることができる。

同じ旗の下に力を結集することにより**スケールメリット**を発揮する。

旗を掲げることでオホーツクの素晴らしさを強く**地域内外に発信**できる。

地域の価値を再認識し、地域に更に誇りを持って、**地域愛の醸成**ができる。

賛同者が定住、移住することで人口減に**歯止め**をかける。

…Etc.

オホーツク版  
SDGs

突破口

オホーツクの求心力となるよう  
共に活用しましょう！！

なぜ幸福度なのか？

経済的指標に表れない、「ここにしかない価値」=  
「地域の豊かさ」が「幸福度」という尺度から見える

## 豊かな自然と、暮らしの豊かさ

流氷がくる  
オホーツク海

おいしい食べ物

世界遺産を含む  
3つの国立公園

アウトドアの聖地

四季折々の移り変り

包容力

…Etc.



地域住民を巻き込み、応援してもらえる活動が必要  
地域の幸福度は企業活動と密接につながっている

## 地域住民

暮らしの価値を提供する**顧客**

目的と時間を共にする**従業員**

互恵関係を築く**取引先**

## 企業が追求

**顧客満足**

**従業員満足**

**取引先と共存共栄**

企業が良くなれば、  
**顧客・従業員・取引先 = 地域住民**  
の幸福度も高くなる！！

**地域の幸福という**

**住民の視点で考えたビジョンを**

**企業活動を通じて実現する。**

# オホーツクビジョンの骨格

## 主観的幸福に必要な要素

人・地域・自然との  
つながり

誰か(何か)と  
つながっている  
ことによる  
幸福

一人ひとりの  
豊かさ

知性や感性、  
心身の健康など  
その人自身による  
幸福

社会経済環境  
の充実

モノや条件など  
外的環境  
によって得られる  
幸福



持続可能性

# オホーツクビジョンの【目的】

オホーツク地域が  
雄大な自然と共に持続可能な発展を遂げ、  
住民一人ひとりが幸福で豊かな暮らしを営み、  
人生を謳歌すること。

# オホーツクビジョンの【目指す姿・方針】

## 1. 『人・地域・自然とのつながり』

母なるオホーツクの自然に感謝し、ふるさとを想う気持ちで結ばれた人と人が多様性を認め支え合い、地域と地域が活発な交流で高め合う「関係づくり」



1-1. 地域を元気にするコミュニティの活性化



1-2. 地域内外の新しいネットワークの形成



1-3. 多様な連携と共働※注1ができる社会システムの実現



1-4. 畏敬の念を持ちながら一人ひとりが参加する自然保護



1-5. 天然資源を保全し活用する持続可能な仕組みづくり

## 2. 『一人ひとりの豊かさ』

新しい時代を切り拓く知性・感性と、真の豊かさを知る寛容な心、そして生涯元気な身体を持つ  
「人づくり」



2-1. 心身の基礎を培う自然体験



2-2. 地域の特徴を活かした体験学習



2-3. 先人から継承した地域の歴史教育



2-4. 心身を鍛えるスポーツ振興



2-5. 想像力を育む文化活動振興



2-6. 生きがいを支える生涯学習



2-7. 生涯いきいき活躍できる健康生活

## 3. 『社会経済環境の充実』

持続可能で自立した元気な経済、世代を超えて安心して暮らせる社会と、次代に向けた新しいオホーツク文化の創造を目指す  
「環境づくり」



3-1. 地域資源の高付加価値化と地産地産<sup>※注2</sup>の追求



3-2. 持続可能で効率的な社会基盤の形成



3-3. 誰もが魅力を感じる労働環境の実現



3-4. 安心して出産、子育てができる環境の整備



3-5. 時代を先導する医療・福祉の推進



3-6. 愛着が湧く文化的なまちづくり



3-7. 自然の恩恵と生活の質を大切に暮らすのすすめ

※注2) 似た言葉として「地産地消」があるが、起点を「生産」とする「地産地消」と異なり、「消費」を起点とし、地域で消費するものは地域で生産するという考え方。

# オホーツクビジョンの【アクションプラン】

## 現在進行中のプロジェクト

### ・生産性UP研究会

従業員1人当たりの生産性を上げるための研究会。

## 今後予定しているプロジェクト

### ・オホーツクビジョン活用 ワークショップの開催

オホーツクビジョンを会員企業が活用するため、ワークショップ形式で自社に合った活用方法を学ぶ。

### ・SNSプロジェクト

インスタグラムを利用した地域内ネットワークの形成も狙った地域プロモーション。オホーツクの食、景色、文化などの写真を一般の人に投稿してもらい、その投稿をコンテストで審査・表彰する。誰でも参加可能で楽しみながらオホーツクの暮らしの魅力を写真で発信し、競い合うことでオホーツクをPR。

### ・空港PRプロジェクト

オホーツクの玄関口である女満別空港をPR



# 今後の動き

プレスリリース

随時

同友会内での発信

オホーツクビジョンの取り組みを全国の会員に発信

OV活用ワークショップ

自社での活用方法をワークショップ形式で学ぶ。高頻度で開催

普及促進グッズの製作

ステッカーやバッジなど普及促進グッズを製作  
アイコン利用者に販売

アイコン毎プロジェクト

同じアイコンを選んだ企業同士で連携

KPIの設定

会員各社で活用され、浸透した段階で、具体的KPIを設定

他団体との連携

オホーツクビジョンに共鳴していただける行政や団体と今後連携したい

…Etc.

**企業が主体となつて、**

**この地域の幸福度を高め、**

**オホーツクを元気に！！**

# OKHOTSK VISION ホームページ

オホーツクビジョン

検索

